

施工の現場から 産業用太陽光発電O&M

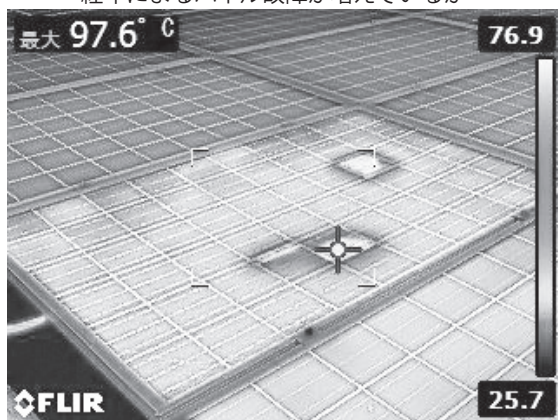
エネルギービジョン

代表取締役
奥山 恭之

第61回

故障した太陽光パネル 交換時の注意点

経年によるパネル故障が増えているが…



発電開始から5〜6年 発電所が増えている。メ
経って、太陽光パネルに ーカー保証で交換できれ
不具合が出始めた野立て ば良いが、そうすなり
だが、
行かないことも多
い。太陽光パネル 不可
●外部要因による損傷は
交換時の注意点を ●製造起因による発電量
整理してみよう。 低下が対象

●メーカー保証値以下の
発電量になっていること
の証明

どこか対応してくれた、
という事例もあるので、
諦める前に連絡してみる
ことをお勧めする。

●発電量低下の証明方法
など、メーカーごとに異
なるので、具体的に確認
した上で対応する必要が
ある。

次にメーカー自体が倒
産や日本法人撤退などで
連絡が取れない場合だ。
このような時に考えら
れるのは、

しかし、発電事業者が
ら直接、メーカーに問い
合わせられないこともあ
る。メーカー側が商流を
重視し「販売店経由でな
いと対応しない」という

◇メーカーを買収した先
があるならば、保証も引
き継いでいる可能性はあ
るので連絡してみる

保証内容としている場合
だ。販売店と連絡が取れ
れば良いが、倒産などで
取れないことも多い。

◇それが無い場合は、メ
ーカー保証は諦める
など、限られた方法し
かないのが現実だ。

ただし、契約書ではそ
のようにになっているが、
直接メーカーに交渉した
らう。自費にはなるが、

パネルをそのまましてお
くのはやはり良くないだ
ろう。発電量は大幅に下
り、

交換の緊急性の判断は日々の発電量データを基盤に

良いが、そうで
なければコスト

総合・太陽光

重視でタイミングを見計
らった方が良いでしょう。